

平成29年度
生活習慣病対策健診・保健指導に関する企画・運営・
技術研修(事業評価編)

VI.特定健診・特定保健指導の事業評価の支援計画
支援計画案作成 演習の進め方

演習のねらい

SBOs 2.

保険者が行う特定健診・特定保健指導事業を踏まえて、地域(都道府県)レベルでの事業の課題を把握し分析することができる。

→ 演習様式 AとB

健康課題とその対策の実情を把握したうえで、全体像を把握し、事業評価(計画)において、何の強化が必要かを見極める

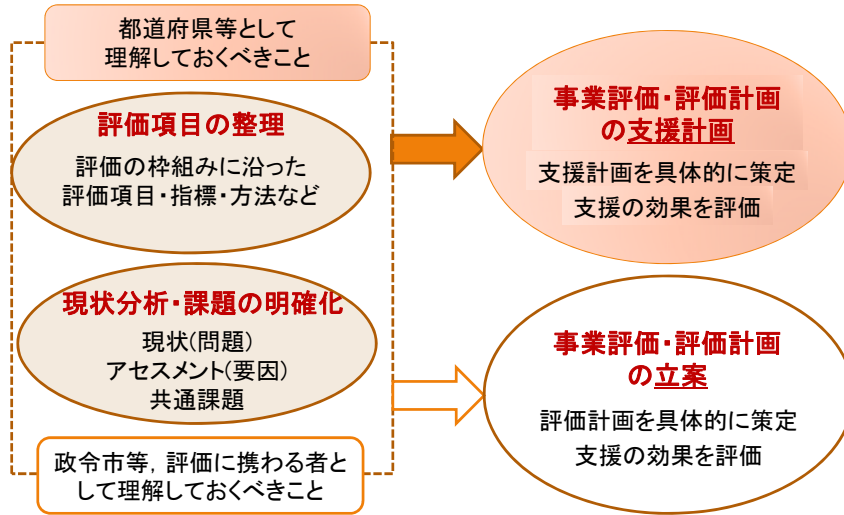
SBOs 3.

地域(都道府県)レベルでの特定健診・特定保健指導事業の課題を改善するための支援や、保険者等との調整を含む評価体制構築に関する計画を策定することができる。

→ 演習様式 C

様式A・Bアセスメントから、事業評価ができるように支援するにはどうするか...の支援計画を立案

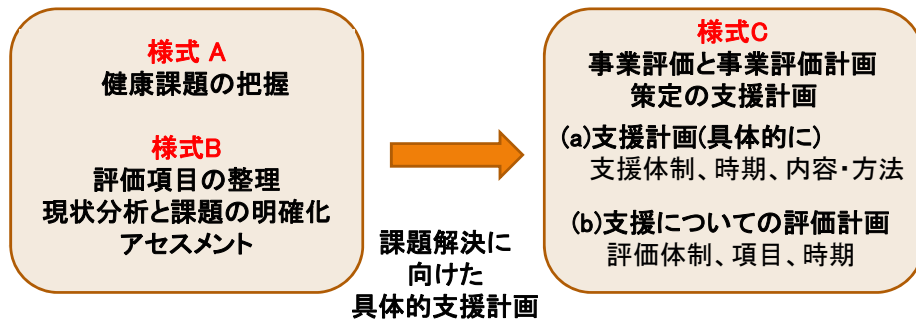
演習(グループワーク)のねらい



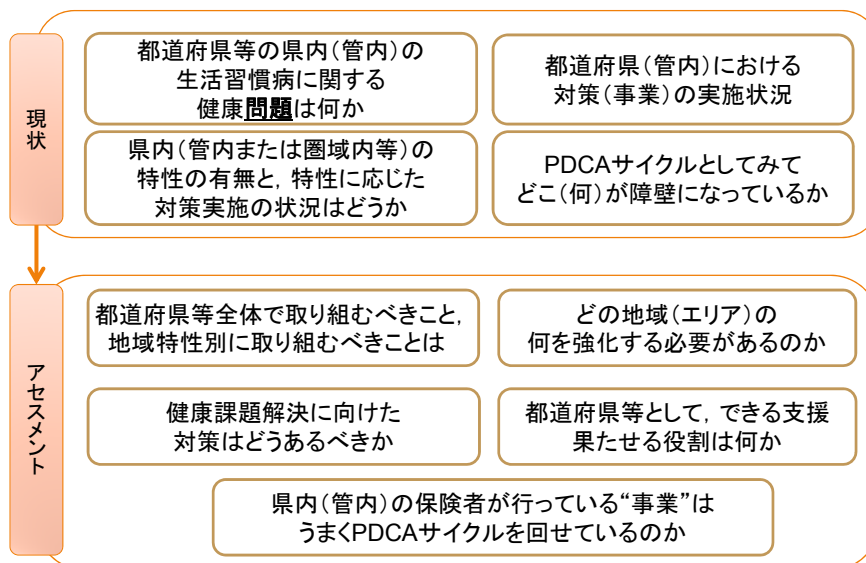
演習の進め方

日時	演習事項	討論の要点など	使用様式
13:00-13:45 (45分)	事業評価(支援)のための 現状把握と分析	事前課題から、県内(管内)の健康課題とその対策の実態を把握したうえで、評価の枠組み・評価項目に沿って、県内(管内)の事業評価実態について共有する。 現状から導いたアセスメント内容についてグループ内で妥当性を検討する。 支援(評価)が進まない理由等も検討し、共通課題を抽出しグループでまとめる。	(様式A) 様式B
13:45-15:15 (90分) (部屋移動等)	支援計画の作成	様式Bのアセスメントから、事業評価ならびに評価計画策定に関して抽出された課題を解決するためにどのような支援(実施)が必要か、支援(実施)計画をグループで立案する。	様式C
15:25-15:45 (20分)	発表	支援計画(様式C)について2グループ程度、発表する。(発表1G;10分程度)	
15:45-16:00 (15分)	まとめ	総括:生涯健康研究部長 横山徹爾	

事業評価・評価計画の支援に関する計画（様式AB→C）



健康課題とその対策の実態（現状）把握と分析



対策(事業)のPDCAについて見極める

P (事業企画, 立案)	<ul style="list-style-type: none"> ・計画の目的・目標を明確にしているか ・計画の対象は妥当か ・計画で用いている手段(媒体, やり方)は 妥当か... 	・ストラクチャー
D (事業実施)	<ul style="list-style-type: none"> ・関わるスタッフ数と時間はどのくらいか ・関係職種等, 多職種で取り組んだか ・効果(成果)を上げられるようなマンパワーで行っているか ・実施の結果は, 想定した(見込んだ)通りか否か 	<ul style="list-style-type: none"> ・プロセス ・アウトプット ・アウトカム
C (評価)	<ul style="list-style-type: none"> ・計画の目的・目標, 企画は妥当だったか ・この計画のために必要な分析ができていたか ・実施のやり方のワンパターン化はないか ・実施結果はかけた労力(人, モノ, カネ, 時間)に見合うか ・実施結果(成果)を振り返っているか, フィードバックや発展性があるか ・実施した人材の力量はどうだったか... 	<ul style="list-style-type: none"> ・ストラクチャー ・プロセス ・アウトプット ・アウトカム
A (アセスメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・何を, どのように改善するとよいか ・どの情報を補完し, 再分析する必要があるか ・中・長期的な見通しを立てているか... 	

評価の観点を確認する～評価の枠組み～

1) ストラクチャー(構造)

保健事業を実施するための仕組みや体制をみる

2) プロセス(過程)

事業の目的, 目標の達成に向けた過程や手順, 活動の状況をみる

3) アウトプット(事業実施量)

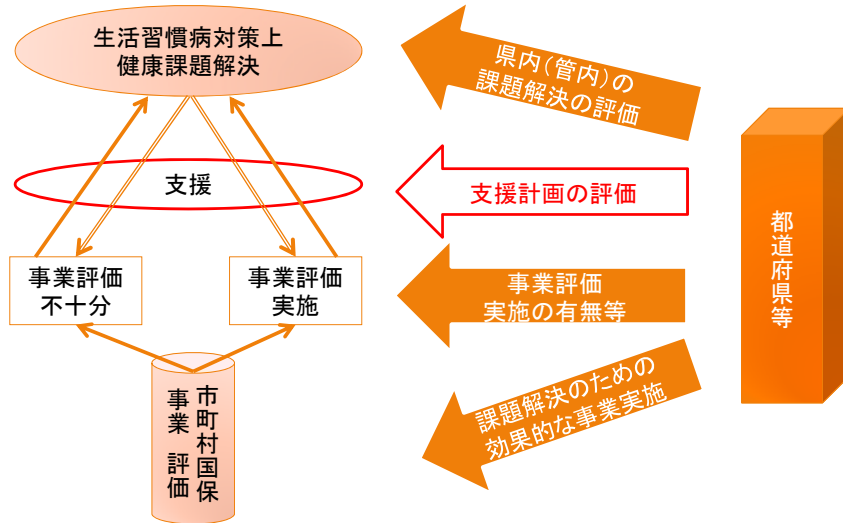
目的・目標の達成のために行う計画した事業(活動)に関して,
何をどれだけどのように実施したか(妥当か)をみる

4) アウトカム(結果)

事業の目的・目標に対する, 達成度, 成果の数値をみる

計画を実施した結果, 何が, どれだけ, どのように変わったか

評価支援でみるどころ



健康課題の明確化(様式A)

平成29年度 特定健診・保健指導研修(事業評価編)様式A

受講生番号: 自治体・団体名: () 氏名: ()

健康課題の明確化: 地域の生活習慣病に関する現状やその対策の状況を把握し、健康課題を明らかにしていきます。

1) 地域の生活習慣病に関する現状と課題	2) アセスメント	3) 生活習慣病対策に関する優先課題
<p>1) 現状</p> <p>担当している地域(組織)の健康増進計画等の概要(目標とその達成状況、具体的計画等)と、既存の統計データ等をもとに、あなたの地域の生活習慣病に関する現状を記載してください</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇県では、男性で、虚血性心疾患の年齢調整死亡率が全国でほとんどトップクラスに高い ・HDL40mg/dl未満である者ならびにLDL160mg/dl以上である者の割合が、全国的にみると高かった。 ・女性では、脳血管疾患の年齢調整死亡率が、全国でも高く、そのリスク因子である収縮期血圧180mmHg以上である者の割合が、全国で上位1/6に入っていた。 ・男性では、虚血性心疾患の年齢調整死亡率が高いこと、そのリスク因子の脂質異常症である者の割合が高い。 ・特定保健指導事業のアウトプット評価(保健指導の実施量)では目標値に到達しているが、アウトカム評価(生活習慣の改善)は目標値に達していない。 ・県西部地域の市町村の健診受診率が他よりも低く、伸び率もよくない。 <p>1) 地域の現状を把握する。 ・量的データ[人口構成(高齢化率)、平均寿命、健康寿命、年齢調整死亡率、死因、医療費、受療率(入院・外来)、特定健診の受診(数)率、特定保健指導の実施(数)率、メタボリックシンドローム該当者数、割合、予備群の数、割合等]は、年次推移、国全体・都道府県・地域内、各性・年齢区分と比較し、客観的指標となるよう示す。 ・事業の現状については、健診・保健指導の企画・立案・評価の状況[医療関連データの分析結果を踏まえた事業が行われているか、実施体制、期待される効果とのギャップの現状等]についても記載する。</p>	<p>2) アセスメント</p> <p>男性では脂質異常症、女性では高血圧症に焦点を当てた一次予防対策など、地域の課題を踏まえた、特定健診・保健指導が実施されていない。 地域の健康課題を分析するためのデータ分析が十分でない可能性がある。</p> <p>2) 問題(あるべき姿と現状とのギャップ)やその原因などについて分析する。 あるべき姿と現状とのギャップを問題として特定する。 その原因やそれを放置した場合に想定される結果を分析する。</p>	<p>3) 生活習慣病対策に関する優先課題</p> <p>1) 男性では脂質異常症、女性では高血圧症に焦点を当てた一次予防に関する、特定健診・保健指導を強化する必要がある。</p> <p>2) 地域の健康課題分析のためのデータ分析を行い、焦点をあてた対策(対象を絞るなど)を行う必要がある。</p> <p>3) 優先順位を考慮して、課題を抽出する。 左記2)で抽出された問題を解決するうえで、行うべきことを優先順位が高く、解決可能なものから、箇条書きに要約して記載する。</p>

事業評価、事業評価計画に関する現状分析（様式B）

事前課題(様式AB)を踏まえ、市町村等が「事業評価」及び「事業評価計画の策定」を行うにあたり、評価の枠組みと評価項目に関して、県内市町村（管内）は、実施しているかどうか。またそれを都道府県等として把握しているかどうか。

【記入例】

評価の枠組	評価項目	A	B	C	D	E	...
ストラクチャー	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の体制について ・事業予算 ・他機関との連携体制 	○	×	不明
プロセス	<ul style="list-style-type: none"> ・設定目標の妥当性 ・データの読み取り, 診断の妥当性 ・受診率向上のための受診勧奨状況 ・実施方法, 媒体 ・事業企画・立案・実施・評価の流れ 	○	○	○			
アウトプット	<ul style="list-style-type: none"> ・健診回数(会場数)と受診者数 ・保健指導の実施件数と従事者数, 時間 	○	×	×			
アウトカム	<ul style="list-style-type: none"> ・事業目的及び目標の達成度 ・健診受診状況(受診率)と医療費 ・健診結果の変化 	○	×	○			

事業評価の現状分析と課題の明確化（様式B）

【様式B アセスメント記載例】

(1)問題点:

- ・データを適切に活用した事業評価が、多くの市町村で進んでいない。
- ・事業の実施だけに追われているところが多い。

(2)アセスメント(背景・理由):

- ・データ処理能力のある人材が不足している。
- ・事業を全体的にマネジメントできる体制でなく、事業実施に偏っている。事業のPDCAを回す必要がある。

(3)課題:

- ・データ活用(読み取り)に関する能力向上の必要性
- ・事業等PDCAサイクルの理解した人材での実施体制

様式C 記入例（事業評価の支援計画）

課題(様式A, Bのアセスメントから)

#1 データ活用(読み取り)に関する能力向上の必要性

#2 事業等PDCAサイクルの理解に関する能力向上

課題 番号	(a)事業評価の支援計画		
	支援内容 支援方法	支援体制	時期
#1	<ul style="list-style-type: none"> データ処理能力養成のための人材育成プログラムによる研修を実施 [データ活用マニュアル・事例集などを用いた演習の実施] 	<ul style="list-style-type: none"> 県: 国保部門・健康増進部門・保健所 国保連合会, 協会けんぽ, 支部 	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度(データヘルス計画の評価年)
#2	<ul style="list-style-type: none"> 実践(D)から次のCAIに発展させる, アセスメント力向上の研修(演習)を実施 評価の考え方の研修実施 		

様式C 記入例（支援についての評価計画）

課題(様式A,Bのアセスメントから)

#1 データ活用(読み取り)に関する能力向上必要性

課題	(a)事業評価の支援計画			(b)支援についての評価計画		
	支援内容 支援方法	支援体制	時期	評価項目	評価体制	時期
#1	<ul style="list-style-type: none"> データ処理能力養成のための人材育成プログラムによる研修を実施 [データ活用マニュアル・事例集などを用いた演習の実施] 現地(電話)での実務支援(集約データ…) 	<ul style="list-style-type: none"> 県: 国保部門・健康増進部門・保健所 国保連合会, 協会けんぽ, 支部 	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度(データヘルス計画の評価年) 	<ul style="list-style-type: none"> データ処理能力向上のための研修が実施できたか。 研修内容が事業評価に反映できたか。(データが活用できたか) 研修で使用した媒体は効果的か。 実務支援をどのくらい行ったか 実務支援による成果 	<ul style="list-style-type: none"> 評価検討会の設置(県; 国保・健康増進及び国保連合によるチーム会議) 	<ul style="list-style-type: none"> 研修前後 実務支援後 29年度末または、次回計画立案時, データヘルス計画の評価年

成果発表

- (1)発表グループには, 15:00頃までにお伝えします。
発表になったグループは, 発表者を決めてください。
- (2)発表内容
「事業評価の支援に関する計画」および
「事業評価計画作成の支援に関する計画」(様式C)
- (3)発表時間 (2グループ程度)
1グループ10分程度(質疑応答含む)
- (4)発表・総括: 14:25～15:45(場所: 交流対応大会議室)
1グループ10分程度発表 総括:15分

進め方の確認

- ① グループメンバー内で, 様式A, Bを共有
特に, お互いに全体像をつかみ, アセスメントの妥当性をディスカッションします。
- ② 様式A, Bのアセスメントから, 評価支援(実施)計画(様式C)を作成
グループで1つ作成します。
グループのパソコンで, 【事業評価編(様式C)】に書き込みながら, ディスカッションを進めてください。
- ③ 成果物の提出
出来上がった【様式C】は, 遠隔教育システムにアクセスし, 【グループ掲示板】のところへアップロードをしてください。
(15:15締切)

【グループ掲示板アップの方法】

**** 6月9日(金)15:15までにアップロードしてください****

- ①グループの誰か代表で、「遠隔システム」にアクセス
- ②遠隔システム>ログイン>平成29年度 生活習慣病対策健診・保健指導に関する企画・運営・技術研修(事業評価編)>
掲示板:グループワークデータ共有用
- ③自分のグループ(A~M)のフォルダー>新しいディスカッションピックを追加する>件名:グループ名・様式C>メッセージ「グループ名・ファイル名」>添付ファイルの項目に様式Cファイルを添付>フォーラムに投稿

【グループ成果物の閲覧について】

* 事業評価編 演習グループA~Mの成果物は、29年度末までアカウントのある受講生は閲覧することができます。

* 遠隔システム>平成29年度 生活習慣病対策健診・保健指導に関する企画・運営・技術研修(事業評価編)>「掲示板:グループワークデータ共有用」から、他のグループの成果物も参考に、実務にお役立てください。